



いつもご紹介ありがとうございます。

8 月 紹介数

内科	38	整形外科	30	腎・透析センター	2	歯科口腔外科	32
内科 ER	135	放射線科	112	内視鏡	44	消化器内科	52
外科	54	脳神経外科	1	呼吸器外科	0	眼科	1
泌尿器科	43	小児科	23	胸部心臓血管外科	4	乳腺外科	10
産婦人科	120	緩和ケア外科	41	循環器内科	72	呼吸内科	1
皮膚科	2	精神科	1	リハビリ科	5	合計	823

～総合診療センターの成り立ちと現在地について～

当院の総合診療センターは病棟、ER、外来の3つの部門の運営を行っています。
今回は総合診療センターの成り立ちと現在地を紹介します。

病棟部門は 1998 年に研修医教育を目的として総合病棟を運営するために内科各科からスタッフを集めて総合診療科を設立したことが始まりです。当時からコモンな疾患と診断に難渋する病態を幅広く診療しながら臨床研修医や後期研修医・専攻医の教育を担っています。2024 年度に担当した入院患者数はのべ 757 人でした。

ER 部門は 2000 年代初期に福井大学救急部（当時）に学びに行った医師たちが中心となって ER 型救急として立ち上げました。「断らない救急」の取り組み、新病院移転、COVID - 19 パンデミックを経て、現在では堺市で 3 番目に救急車を受け入れる病院となりました。

2015 年新病院移転に合わせて病院の屋台骨となる総合部門をより発展させるために総合診療センターを設立し、病棟部門と ER 部門に加えて外来部門として総合診療センター外来を開設しました。こちらはどの専門科に紹介すればいいかわかりにくい患者さんや、不明熱や体重減少といった診断に難渋する患者さんを幅広くご紹介いただいています。その中でも紹介の多いリウマチ・膠原病については、今年 7 月から月 1 回ではありますがリウマチ外来を開設しました。

現在「19 番目のカルテ」という総合診療医を主人公にしたドラマが放映されていますが、地域の高齢化が進み医療が複雑化する中で総合的に診療を行うことができる医師の必要性はますます高まっています。総合診療センターはそのような地域のニーズに応えながら、そのような志を持った医師を育てていけるように取り組んでいます。

救急総合診療科部長/副病院長 大矢 亮

内科・総合診療センター外来体制表

	月	火	水	木	金	土
午前診療	岩崎桂子（糖尿病）	大矢亮（総合内科）	杉本雪乃（総合内科）	藤本卓司（総合内科） 大矢麻耶（腎臓内科）	×	（予）リウマチ・膠原病（1）
午後診療	（予）岩崎桂子（母性内科）	×	×	×	×	×
ER・前日	24時間随時対応 *TELにて事前にお問い合わせください					



メディカルカンファレンス（循環器内科）

「今さら聞けない心電図 Part2 ～緊急性の高い不整脈と虚血性変化～」

8月28日18時半から、みみはらホールで第23回メディカルカンファレンスを開催しました。今回は「今さら聞けない心電図 Part2」として当院の循環器内科部長の石原先生から講演をいただき、WEB視聴と現地を合わせて、50名の方にご参加いただきました。

現地には、他市町村から開業医の先生方も来られ、たくさんのご質問もいただきました。また講演終了後に「不整脈の分類をわけて細かく説明していただき、大変勉強になりました。」「忘れかけていた知識が整理され、勉強になりました。」などたくさんのご感想・ご好評もいただき、とても有意義な企画となりました。



第29回 耳原総合病院 地域医療連携をすすめる会 ご案内

第1部 ●当院の診療科の紹介 15:00～16:30

「当院からの報告」病院長 河原林 正敏

講演1：CKDの次の一手～当院のCKD治療より振り返って
腎臓内科部長 大矢麻耶

講演2：当院のがん診療のこれまでとこれから
副病院長 山口拓也

講演3：心房細動に対する新しい治療法
「パルスフィールドアブレーション」を開始しました
副病院長 石原昭三

日時 10月11日（土）
15:00～

開催場所
フェニーチェ堺
3F 文化交流室

第2部 ● 懇親会

*本学習会は、大阪府医師会生涯研修申請予定です。（2単位）



社会医療法人同仁会

耳原総合病院
MIMIHARA GENERAL HOSPITAL

地域連携室



いくわ みみはら
直通 0120-198-338
TEL 072-241-0324(直)
FAX 072-241-0208(直)

平日 8:45～20:00 土 8:45～13:00 日祝休